

事業所における自己評価表

公表： 令和5年2月10日

事業所名： 児童発達支援事業所 どーむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	9			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9		障害の重いお子さんでも理解しやすいようにシンプルな配置と構造にしています。	今後もできるだけ本人の発達の段階に合わせた環境設定をしていくようにいたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9		毎日の清掃後、アルコール消毒を行っています。おもちゃ類の消毒、破損のチェックを行い安全に過ごせるようにしています。	コロナばかりでなく、他の感染症予防のためにも、引き続き衛生面には気をつけていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		返却いただいた評価票を集計し、職員会議の中で周知、改善に向けて検討しています。	様々なご意見を受入れ、それを糧に改善につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		毎年1回よるべ会ホームページ上にアップし公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4		今年度初めて県実地指導が行われました。身体拘束指針についての指摘を受け、すぐに指針の整備にかかっています。	外部評価は今後法人として検討をすすめています。

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		発達講習会などに参加する機会が定期的にあります。オンライン研修を利用し全職員での研修を実施しています。	対面研修ももどってきている中で、オンラインも活用しながら全職員が受講できるよう取り組んでいきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9		より適切な支援が行えるように、必要に応じて個別支援を行っています。	今後も引き続き本人にあった発達支援を行っていくようにいたします。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		・役割分担を確認した後は、前回出席した日課記録を確認し、子どもが理解、納得しやすい言動を心掛けています。 ・毎日、朝礼で情報を共有し確認しています。	情報を共有するだけでなく、その情報を生かすことを心掛け、本人の不安がないように向けていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		・子どもに私の意思が伝わらなかった時は、どうしたらよかったのか。やり方は間違っていないか必ず職員に確認しています。 ・毎日の終礼でお子さん一人一人の振り返りで情報共有しています。	朝礼、終礼はただの振り返りではなく、共有と共感、今後への対応といったことを考える時間となるよう向けています。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		一人一人場面ごとに様子を丁寧に記録しています。	記録をただとるだけでなく、何を伝えたいのかを明確にし、その後記録をどのように生かすかをポイントとして記録をとっています。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		6ヶ月に一度モニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		移行支援の対象となるお子さんについては、年度末に市教育委員会と児童の様子や配慮事項を記載した書類を作成し、情報共有を行っています。	教育委員会との連携は引き続き行い、小学校へのフォローアップも可能な限り行っていきたいと考えています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3			

保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	3	参加する機会がなくできていません。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		連絡帳や送迎時に共有しています。	保護者とは積極的にコミュニケーションをとるよう心がけていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		・連絡帳を通して保護者の気持ちを感じ取り、心配な時は周知し迅速・適切な対応ができるよう職員間で連携しています。 ・年3回の面談を実施しています。	保護者によっては悩みを抱えている状態の把握がしにくいこともあります。表情やお子さんからの話など総合的に見て必要に応じたアプローチをしていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	年3回の茶話会を計画しているが、コロナ禍で開催できていない。	感染症対策を実施した上で茶話会を行っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		必要に応じて面談を実施しています。	相談があった際には丁寧に迅速に対応し、必要に応じて関係機関との連携を強化し、つなげることをしていきます。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8				
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9				

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	毎年法人として夏祭りを開催していましたが、コロナ禍で開催できていない。	開催できるようになりましたら再開いたします。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		月1回、避難訓練を実施しています。	曜日を変え、全児童が経験するように実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	主治医からの指示書は無くご家族からの話によります。	定期的に栄養士、調理士も交えた会議で確認もおこない、確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9		県実地指導により、事前に同意書をとることは控えるよう指示がありました。必要に応じてとることとしました。3要件を満たす場合にのみ行うことを確認。	実地指導をもとに、原則身体拘束は行わないこととして今後も方針を定め実施していきます。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。